

## 量類公正競争規約作成連絡会 第24回 合同委員会 概要

日時：平成30年8月22日（水）13：30～15：00

場所：中央合同庁舎4号館 共用408号会議室

出席：関係団体 全国い生産団体連合会、全日本量事業協同組合、全国量材料卸商組合連合会、全国量材商社会、全国量産業振興会、全日本 ISO 量振興協議会、全日本 JIS 量床工業協同組合

オブザーバー 押出発泡ポリスチレン工業会、日本建築士会連合会、大建工業株式会社、消費者庁、農林水産省

会議に先立ち午前中の幹事会報告を行った。要旨は下記のとおり。

7月の総会で意見の一致が出来なかったことを認識している。この中で反省すべきは反省しなければいけない。業界を発展させようとの意思で出席されながら誤解もあり総会が対立するような形となってしまった。しかし今回の総会の運営については、出席者や委任状の集計・確認の徹底、また議案の投票用紙を作成した事により、総会進行時のトラブルがなくて良かった。総会については特に準備の段階で委員の負担が大きく、「これからの総会などの場面ではプロに任すのもひとつの方法ではないか」といった意見も聞かれました。

量仕様書を普及させようということでは総会で決議されており、これを速やかに開始し実行していくかについて検討した。

3委員会の中で調査・広報委員会は総会からはじめいろいろな宿題を与えられ、今から業務に携わっていく。規約検討委員会並びに公正取引協議会検討委員会に関しては、一時休憩の見通しで調査・広報委員会の業務が多く、このため2委員会が協力することになった。

総会の反省を踏まえて役員の刷新と合わせ、量仕様書を消費者に提供する量屋さんの意見が一番大事だということで、こうした会合に出席する量屋さんのメンバーを増やそうということとなった。

連絡会会員に公募型募集で委員会に入って頂き、ご意見を頂く。ということでまとまった。委員会については現行の3委員会の中に入って頂くか、新たに1委員会を設けて入会してもらおうか検討していく事となった。

### ○今後の方向性について

同じ轍は踏まないということで7月の総会で議長による総辞職の提案があり、出席幹事からも「総辞職をして再編」の意見があり、「8団体の足並みが揃っていなかった」として神邊会長に各幹事が辞表(辞職願)を提出して総辞職した。

次回からの会合には、新しい幹事のもとの連絡会を開催することとなった。

また、改めて8団体から幹事の推薦を経て、組織再編案を協議して専門委員会(3委員会)に新しく委員会(連絡会運営委員会・仮称)を設けて、選任することも確認した。さらに、新メンバーで「みんなが一つになって新しいスタート」を切る事となった。このため8団体が今月いっぱい連絡会につながる人員を推薦して頂き連絡するように要請す

る。役員は会長1名、副会長3名、幹事8名以内(各団体代表)であることを確認した。

「畳仕様書」については、総会で承認を受けており委員を招集して「これから実施する」ことを確認する。

業界スタンダードルール関係者説明用動画について調査・広報委員会から標題について見積書と台本を含めた絵コンテの説明があり、ナレーターは男性より女性が良いのではないかとの提案があった。またスタンダードルールの必要性和仕組み、畳仕様書の活用を紹介した動画は200部作製して説明会等で紹介する。

以上